

サピエ点訳図書に登録されている30タイトル(1/5)

(室蘭市点訳赤十字奉仕団作成)

	書名	著者	内容
1	進化の法則は北極のサメが知っていた	渡辺佑基著	恐竜、ミジンコ、アザラシ、そしてヒト。多様な生物が繁栄した背後にある物理法則とは。「体温」という切り口から地球上に暮らす様々な生物を見渡し、その生き方を決定づけるメカニズムに迫る。
2	亡国の東京オリンピック	後藤逸郎	4回目の緊急事態宣言が発出される中、なぜオリンピックは強行開催されたのか。「平和の祭典」の美名を振りかざし、巨大な利権に群がったのは誰なのか。国際的なオリンピック利権を鋭く抉る
3	かんたんレストランー世界のおやつ	平野恵美子	いろんな国のいろんなおやつの作り方を紹介。たのしく作って、さあ、きみの「かんたんレストラン」開店！
4	ギフテッドの個性を知り、伸ばす方法	片桐正敏編著	高い知的能力を持ち、さまざまな潜在的可能性を秘めた、配慮や支援が必要な子ども「ギフテッド」。彼らの個性を知り、伸ばす方法について、イラストを交えてわかりやすく解説する。子育て相談事例集も収録。
5	死者と霊性 近代を問い直す	末木文美士編	大震災、原発事故、コロナ禍は見えざるものの力を知らしめた。死者たちと私たちの関係にも、いま変化が生じている。独自の思索を続けてきた5名が、死者と霊性をキーワードに、新たな時代の哲学と宗教の再興に向けて語り合う。
6	WHAT IS LIFE?	ポール・ナース	ノーベル生理学・医学賞を受賞した細胞生物学者ポール・ナースが、「生命とは何か」という人類の永遠の疑問に、現代生物学の知見を踏まえて答える。近代科学400年の集大成とも言える、新しい生命論。
7	勉強大全ーひとりひとりにフィットする1からの勉強法	伊沢拓司	ひとりひとりにフィットした「勉強法」を。東大生クイズ王が、最も大切なのに誰も教えてくれなかった勉強の作法を、大学受験をベースにレクチャーする。頭をスッキリさせ、最短ルートで合格するためのエッセンスが満載。

サピエ点訳図書に登録されている30タイトル(2/5)

(室蘭市点訳赤十字奉仕団作成)

8	自分を信じる力	福岡堅樹	「成長の限界を決めない」「自分を客観視する」「目標はいつ変わってもいい」…。ラグビーW杯ベスト8 & 医学部合格を実現した福岡堅樹が、自らの軌跡を振り返りながら、自身の考え方や鍛え方、学び方を語る。
9	パセリ通りの古い家	M. B=イスベルト	第二次世界大戦後。ドイツでのつらい時期、希望をもって暮らしている避難民の一家の生活を描いた名作。
10	「乗り鉄」教授のとことん鉄道旅	宮村一夫	車内や旅先での出会いと出来事、駅弁や車窓風景など、鉄道旅の魅力を臨場感たっぷりに語る。NHK「ラジオ深夜便」で放送された「大人の旅ガイド」「旅の達人全国鉄道紀行」の内容をもとに書籍化。
11	権力と新聞の大問題	望月衣塑子、 マーティン・ ファクラー	官房長官会見で記者として当然の質問を重ねることで、なぜか日本の既存メディアから異端視される東京新聞の望月記者。そんな日本のメディア状況を、彼女とニューヨーク・タイムズ前東京支局長ファクラー記者が語り合う。
12	木と語る匠の知恵―室生寺五重塔はいかにして蘇ったか	松田敏行	「軒反り」の壮麗さ、「垂木」の美しさ、「椽皮葺」の幽寂…室生寺五重塔や唐招提寺宝蔵、薬師寺東塔など、40年以上にわたって文化財の保存修理に携わってきた著者が、古寺に込められた日本人の悠久の智慧を語る
13	ほんとうの多様性についての話をしよう	サンドラ・ヘフェリン	誤解と偏見だらけのニッポンの「多様性」。「複数の国にルーツを持つ当事者から見る多様性」と「国のマジョリティが考える多様性」の隔たりに触れながら、ほんとうの多様な社会を目指す方法を考える。
14	ハーメルンの死の舞踏	ミヒヤエル・エンデ	中世都市ハーメルン。支配者たちのひそかにあがめる「大王ねずみ」が金貨をひり出すたびに町中にねずみが氾濫し、住民は死の影におののく。そこに、ふしぎな笛をもつ男が現われ、ねずみ退治の約束をかわすのだが…。

サピエ点訳図書に登録されている30タイトル(3/5)

(室蘭市点訳赤十字奉仕団作成)

15	沢村さん家(ち)のそろそろごはんですヨ	益田ミリ	スーパーの惣菜売場が好きな父、料理上手な母、家族の外食を仕切る立場となった40歳未婚の娘。思うところはあるが…幸せな食卓です！『週刊文春』連載に描き下ろし「沢村さん家のスキヤキ」を加えて書籍化。
16	沢村さん家(ち)の久しぶりの旅行	益田ミリ	お父さんとお母さんは、函館へ旅行することになり…。沢村さん家の愛おしい毎日を描いたホームコミック第3弾。「ヒトミさん、初めてのひとり旅」も収録。『週刊文春』連載を単行本化。
17	精神科医が教える一喜一憂しない生き方 目の前のことより、先を見る	和田秀樹	「本当に大切なことは何か」を忘れないためにも、目の前のことに一喜一憂するのはやめてみませんか。急いでもゆっくりでもできることは同じ、人生のピークはできるだけ後ろに持っていくなど、人生を満喫するヒントを伝えます。
18	心がフワッと軽くなる！2分間ストーリー	ささきかつお	人と出会い、言葉をもらって人生が変わっていくことがある。高倉健が岡村隆史にかけて言葉、司馬遼太郎の遺言、写真家になった先生の教えなど、著者がこれまでに出会ったたくさんの「いい話」を、エピソードとともに紹介する。
19	いたずらのすきなけんちくか	安藤忠雄	2020年春オープンの、建築家・安藤忠雄が設計した大阪の「こども本の森 中之島」を舞台にした絵本。「本の森」を訪れた少年とちょっと変わったおじさんとの対話から、世界的建築家の創造力の秘密を解き明かす。
20	むかしむかしあるところに、死体がありました。	青柳碧人	お姫様を鬼から守った一寸法師。打ち出の小槌で大きくなった彼は、ある計画を心に秘めていて…。「一寸法師の不在証明」をはじめ、日本の昔ばなしを、密室などミステリのテーマで読み解く作品集。

サピエ点訳図書に登録されている30タイトル(4/5)

(室蘭市点訳赤十字奉仕団作成)

21	何が記者を殺すのか—大阪発ドキュメンタリーの現場から	齊加尚代	大阪の地で孤軍奮闘するテレビドキュメンタリストが、「毎日放送」が制作した4つのドキュメンタリー番組の取材舞台裏を明かし、いま切迫して感じられる社会が抱える問題と「ドキュメンタリーの可能性」について語る。
22	猫と生きる。	猫沢エミ	ミュージシャン、文筆家など、さまざまな表情を持つ著者が、東京とパリで愛猫と過ごした激動の日々を描く。日仏の猫事情もレポート。新たな運命の猫との出逢い・別れを加筆した増補改訂版。
23	四字熟語100—ドラえものの国語おもしろ攻略	藤子・F・不二雄	厳選した100語を、意味、例、参考、注意点などをストーリーまんがで解説。四字熟語を使いこなし、言葉の達人になれる本。
24	破滅エンドまっしぐらの悪役令嬢に転生したので、おいしいご飯を作って暮らします	和泉あや	やけ酒中に川に落ちて死亡した莉亜は、悪役令嬢アーシェリアスに転生していた。このままでは破滅することを悟ったアーシェリアスは、もふもふ&ツンデレ剣士と一緒においしいご飯を作りながら幻の食材を探す旅に出るが…。
25	食事法の最適解—健康本200冊を読み倒し、自身で人体実験してわかった	国府田淳	ごはんやパンは体に良くない？ どの魚が体に良い…？ 様々な健康食関連の本を読んで試してきた著者が、ビジネスでパフォーマンスを240%上げる食べ物・飲み物と、その摂り方を伝授。食生活を書き込むフォーマット付き。
26	少年ゲリラ兵の告白—陸軍中野学校が作った沖縄秘密部隊	NHKスペシャル取材班	沖縄戦で極秘編成された少年遊撃部隊「護郷隊」は、どのような環境に置かれ、米兵を相手にいかなる戦闘を強いられたのか。生存者が重い口を開いて、戦場の悲惨な真実を語る。
27	未完の敗戦	山崎雅弘	長時間労働、低賃金…。なぜ日本では人が粗末に扱われるのか。現代日本のさまざまな社会問題を「大日本帝国型の精神文化」によって生じる弊害という観点から検証。一人ひとりの人間が大事にされる社会を創るための道を探る。

サピエ点訳図書に登録されている30タイトル(5/5)

(室蘭市点訳赤十字奉仕団作成)

28	調査報道記者	日野行介	<p>原発事故後、数多くのスクープを通じて隠蔽国家・日本の正体を暴き続けた職業ジャーナリストの、10年をかけた〈原発戦記〉の集大成。陰湿な権力に対峙し民主主義を守るために報道してきた事例と方法論を伝える。</p>
29	正義と微笑—SDP Bunko	太宰治	<p>将来に大いなる夢や希望を抱いていた16歳の進。しかし受験を控え、進学するか就職するかに悩むようになる。進の選択した道は…。少年の揺れ動く心は時代に関係ないものだろう。太宰の年少期の友人の日記をもとにした作品で、同様に日記形式で表現された明るく爽やかな作品である。</p>
30	復活への底力—運命を受け入れ、前向きに生きる	出口治明	<p>脳卒中を発症し、右手右足が動かず、ほとんど話すこともできない状態から1年半、APU学長へ復帰した著者が、復職を目指した背景や、復職までの道のりとその間に気付いたこと、新たに見えてきたことを綴る。</p>